

連携室ニュース

JCHO千葉病院地域医療連携室

VOL.2



誤嚥性肺炎とは

＊高齢者に多い誤嚥性肺炎＊

食事中にせき込む、食事が始まると痰がらみのような状態になっていませんか。このような症状がでているときは、食べ物が気管の中に入りこんでいる可能性があります。起きているときに食べ物、唾液や胃液等本来気管に入らないものが気管に入ればむせて気づきますが、眠っている間に唾液を少しずつ誤嚥することがあり、これは気づきにくいものです。本来、気管に入ってはいけないものが気管に入り込むことを「誤嚥（ごえん）」といい、誤嚥によって最近やウイルスが肺に入って起こる肺炎を「誤嚥性肺炎（ごえんせいはいえん）」といいます。誤嚥性肺炎は高齢者に多く発症し、高齢者が肺炎になると、命にもかかわることがあるため、誤嚥を起こさないよう工夫が必要です。

今月号の内容

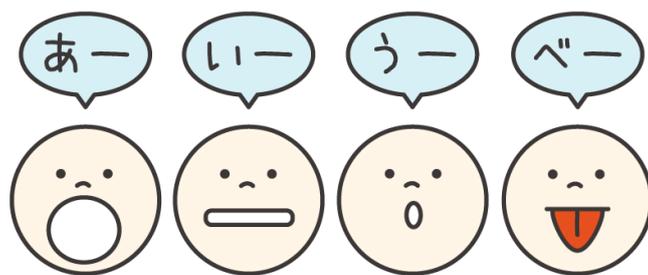
誤嚥性肺炎とは

摂食嚥下ワフポイントレッスン

レスパイト入院のとは
入院のご案内

連携室より

口をできるだけ大きく開けて行います。舌を出すときは思いっきり外に出しましょう。あいうべ体操は、嚥下機能の向上だけでなく、口腔乾燥の予防や免疫力の向上にも効果があるとされています。これらの体操を日常的に取り入れることで、嚥下機能を維持・改善し、誤嚥のリスクを低減することができます。



レスパイト入院ご案内

レスパイト入院とは入院治療の必要のない場合でも病院で7～14日間お引き受けする入院のことです。

ご家庭の事情で、一時的に在宅介護が困難になった場合に、医療保険を利用する入院制度になります。

利用対象：レスパイト入院の利用対象となるのは以下のような方々です

1. 在宅で介護を受けている高齢者や障害者
 - ・介護を必要とする高齢者や障害者が対象となります。医療的なケアが必要な方も含まれることがあります。
2. 介護者が一時的に休養を必要としている場合
 - ・介護をしている家族や介護者が、病気や疲労、急な用事などで一時的に介護を続けられない場合に利用できます。
3. 介護者のリフレッシュや休息が必要な場合
 - ・長期にわたる介護の疲労を癒すため、介護者が旅行や休息をとる際にも利用できます

予約の取り方：

- ・医師を通して当院地域連携室にご相談ください
- ・レスパイト入院期間は7日～14日間。
- ・入院時に退院予定日をお知らせください。入院期間中は処方されている薬を使用するので、必ずご持参ください。
- ・その他、通常の入院時と変わりありません。



連携室より

場所によっては紅葉がみられるようになってきており、秋を感じるこの頃です。レスパイト入院について、聞きたいこと、知りたいことなどございましたら、お気軽にご連絡ください。